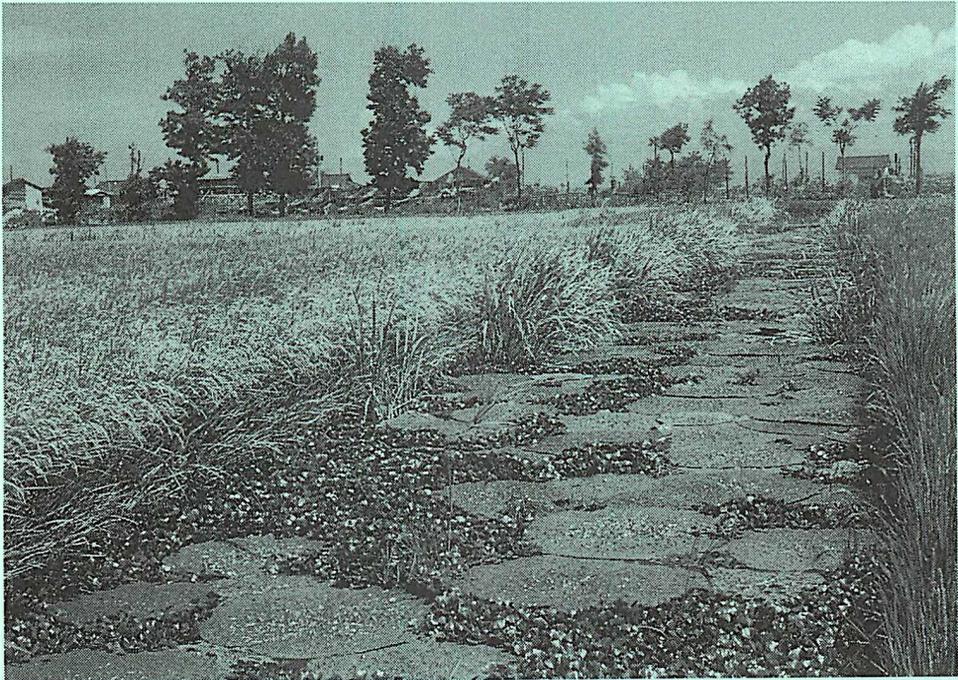


ISSN 0288-139X

水草研究会会報

71号(2000年11月)



Bulletin of Water Plant Society, Japan

No. 71 (Nov. 2000)

水草研究会

— 目 次 —

岩村 政浩：佐賀県産水草目録	1
関岡 裕明・下田 路子・中本 学： 中池見における水田雑草保全の取り組み—3年間のまとめ—	10
浜中 亮成・杉野 守・芦田 馨： ナガバオモダカの異葉形に関する研究	17
渡辺 朝一：ヒシの実を付着させて飛ぶコハクチョウ	22
山崎 真実：水草の集いに参加して	26

[短 報]

浜島 繁隆：ガガブタの子房にできた瘤	21	
星 一彰：福島県裏磐梯柳沼のミクリについて	23	
水草研究会第22回報告.....	24 ; 水草関連文献リスト.....	29 ; 他

[表紙写真] 1960年代のオニバス自生状況（石川県）

写真のオニバスは昭和38年（1963年）8月、石川県における最後の自生地、金沢市北間町（河北潟に隣接した土地）のクリークに群生していたものです。刺だらけで、クリークをふさぎ農作業のじゃまになるので、蛇蓮（じゃばす）とよばれ嫌われていたようです。このオニバスは、耕地整理と工業団地の造成で次第に生育場所を失い、最後の群落が昭和44年（1969年）12月、金沢港工業団地造成のブルドーザーの下敷きとなって絶滅したと聞いております。古く、大正15年に発行された「石川県天然記念物調査報告 第2輯」で、その絶滅が心配されていたものなのに、惜しいことをしました。

（写真と文：本 多 郁 夫）